

地産地消・食の安全を学ぶ

ケ チャップ作り体験

7/28

7月28日(木) 札幌市のカラーズスキースクールの子どもたちが、地産地消と食の安全を学ぶ夏季の事業として昨年に引き続き本町を訪れ、ケチャップ作り体験をしました。慣れない包丁さばきで涙を流しながら一生懸命にたまねぎを切り、5種類の香辛料を使って自分たちのケチャップを作りました。作り終えたケチャップは瓶に詰め各家庭に持ち帰りましたが、味見の段階では各班から、「おいしい!」とうれしそうな声が聞こえました。



未来の消防士はキミだ!

消 防ちびっこ広場

8/6

8月6日(土) 役場前の駐車場で、「第23回消防ちびっこ広場」が開催されました。

広場では、毎年多くの体験コーナーや催しを用意しており、中でも的に向かって放水を体験する「放水コーナー」は毎年大人気で、たくさんの子供たちが列をつくっていました。その他、本物の消防車に乗れる「乗車コーナー」、かき氷、フランクフルト、スーパーボールすくいなどの無料縁日コーナー、赤十字奉仕団による災害時のお米炊出しなどが行われ、集まった多くの子供たちで賑わいを見せていました。



自治振興協議会主催

草 刈りボランティア

8/12

8月12日(金) 自治振興協議会(石田隆広会長)が主催した、道路環境美化ボランティア活動が行われました。

夜高あんどん祭りに訪れる多くの観光客を気持ちよく迎え入れたいと実施されたもので、今年で4回目の開催になります。石田会長が挨拶で「2週間後に開催される夜高あんどん祭りで多くの方が来町します。気持ちよく来ていただけるようご協力をお願いします。」と話し、集まった町民等のボランティア約80名が清掃活動を行いました。



作業は、平スコップで道路縁石などから生えている雑草を削りながらゴミ袋に入れ、軽トラック1台分の雑草を除去し気持ちよく作業を終えました。

東 予開拓 120 周年記念式

先人の労苦に感謝して

8月18日（木）東予地区において、先人の労苦に感謝する開拓120周年記念式典が46名の参列のもと執り行われました。

式典では、金平町長より「先人の努力に敬意を表します。若い人たちに東予の歴史を継承していただきたい。」と述べました。

式典が始まる前には、金平町長、渡邊議長、谷口行政区長3名による桜の木の記念植樹が行われました。また、東予神社の建立当時からあったと云われる「御神輿」が披露され、参列者の大きな拍手を受けながら9名の児童が元気いっぱいに担いでました。



東予地区開拓の歴史

明治28年伊予の国（現在の愛媛県）から宮崎春次氏率いる35戸が新天地北海道に向け故郷を離れ出発しました。一行を乗せた船は小樽港に上陸し、汽車に乗り空知太に到着、徒歩で現在の深川市メムに入り、2年間寒地農業の営農に従事後、明治30年3月頃、堅雪の上を手櫛てそりにたくさんの食糧を積み込み、深川市一己を通り山を越して深川市多度志を經由。雨竜川の氷上を渡り東予に辿りついたと云われています。そして一行は休む間もなく翌日から未開の密林を伐木・開墾の作業に汗を流し開拓が始まりました。当時は現在のように進歩した機械類のない時代でのこぎり・まさかり・かまくわかまくわでの作業であり、その苦労は今の私達には想像も出来ない苦闘の連続であったと思います。（資料：沼田町史）



大

東京沼田会主催

大沼こーたろ慰問コンサートの開催 !!

8/25

8月25日(木) 東京沼田会(会長 田坂勝芳氏)主催の「大沼こーたろアンサンブルコンサート」が養護老人ホーム和風園で開催されました。

大沼孝太郎(貞雄)さんは、沼田町浅野出身で沼田高校を卒業後、海外を含め東京を中心に年数回コンサートを開催してます。今回は、大沼孝太郎さんのご好意でアンサンブルの主要メンバー4名が参加し開催されました。会場には入園者約100名が集まり、マンドリン・ウクレレ・スチールギターなどで懐かしい童謡、唱歌、ハワイアンなど10曲が披露され、最後は入園者と一緒に「ふるさと」を歌い、懐かしさと幸せ感が溢れた慰問コンサートでした。



明

NHK すずらん記念

明日萌の里 全道パークゴルフ大会

9/1

9月1日(木) 沼田町民パークゴルフ場において第15回NHKすずらん記念「明日萌の里」全道パークゴルフ大会が開催されました。

これまで男女個人戦で行っていた本大会ですが、今年度より「男女ペア大会」に模様替えし、全道各地(遠くは遠軽町丸瀬布)から68ペア総勢136名のパークゴルフ愛好家が集まりました。

季節外れの30℃を越す猛暑の中、4コース全36ホール、男女ペアによる熱戦が繰り広げられました。



結果は以下の通りです。

- 優勝 伊藤 実様・三浦法子様(苫前町)ペア
- 準優勝 渡辺憲造様(滝川市)・高島栄子様(奈井江町)ペア
- 3位 平野文昭様・平野ふじ子様(深川市)ペア



いつまでも元気で
旭 寿園ふれあい祭り

9/3



9月3日(土) 特別養護老人ホーム旭寿園で「ふれあい祭り」が開催され、入所者のご家族など多くの方が訪れました。

開会式では入所者で白寿と米寿を迎えられた方に、金平町長からお祝いの品を手渡し長寿を祝福いたしました。

うどんや焼き鳥、かき氷などの出店や、沼田吹ガールズや職員による余興で楽しまれ、和やかな雰囲気の中での開催となりました。

完熟トマトの
親 子トマト収穫体験

9/3



9月3日(土) 4日(日) 「第1回 親子で参加 北の大地でトマト収穫体験 in 沼田町」が開催され、主催である生活クラブ神奈川の会員12名の親子が参加しました。

トマトの収穫体験を通し、日ごろ皆さんが食べている食材について楽しく学ぶことなどを目的とし、コーミ(株)の協賛で1泊2日で行われました。

1日目は、天候に恵まれ、ときおり顔をのぞかせるカエルにびっくりしながら、皆さん真っ赤なトマトを一生懸命収穫しました。2日目は、トウモロコシの収穫体験が行われたあと、農産加工場のトマトピューレを使ってケチャップ作りを体験し、「食」についての理解を深めました。

いつまでも輝きつづけて！
第 43回敬老会が開催

9/4

9月4日(日) 沼田町と沼田町社会福祉協議会の共催による第43回沼田町敬老会が町民会館で行われました。

約220人の参加者へ、金平町長から「豊かな知識と経験で本町の礎を築いてくださった皆さんに感謝申し上げます。町の活気を取り戻し安心して住んでいただける町を目指していきます」と挨拶し、岡田土地改良区理事長の発声により祝宴が始まりました。

その後のアトラクションでは、可愛らしい認定こども園の園児による「太鼓演奏」や「歌謡ショー」など、盛りだくさんの内容に参加者は楽しみながら談笑していました。



沼田から学ぶ！

首都圏3大学の学生がインターンシップを実施。

□ 青山学院大学

9月5日（月）～8日（木）

5日（月）から8日（木）の4日間、学生2名・引率2名の計4名が就業支援センターなどで法務関係の研修を行いました。

研修は、保護司会・すずらんの会・明日萌の会との座談会や入所者と一緒にトマトの収穫や花卉を栽培している農家での実習などを行いながら、沼田町の取組みや更生施設のあり方について学びました。



▲トマトの収穫体験に取り組む青山学院大学からの研修生

□ 慶應義塾大学

9月8日（木）～10日（土）



▲移住定住ワークショップを行う慶應義塾大学アグリゼミの皆さん

慶應義塾大学からは農村と都市の共生による地域再生を研究しているアグリゼミに所属する12名の学生が来町しました。

研修は主に、「農村と都市の共生による地域再生」をテーマに、農業体験・農業者との意見交換、移住定住ワークショップを行い、本町の取組みを通して農村と都市が共に繁栄するあり方を学び、持続可能な地域づくりの発表をしました。

□ 明治大学

9月8日（木）～10日（土）

明治大学は自治体財政調査を行う「星野ゼミナール」から29名の学生が来町しました。

金平町長によるまちづくりの講話を受けた後、本町の財政について学び、農業者・地域おこし協力隊との意見交換、雪山センター・農産加工場等の町内視察研修を行った後、まちづくりの提案をまとめ発表しました。



▲まちづくりについて提案発表する明治大学星野ゼミナールの皆さん

ハイテクインター(株)

待望の北海道テストセンターを開設！

平成 22 年に本町への進出を決めたハイテクインター(株)が本格進出の足がかりとして北海道テストセンター（南 1 条 3 丁目）を開設しました。

ハイテクインター(株)は本社を東京都に置き、各通信機器の輸入・販売を主な業務としてますが、近年は自社で開発した有線・無線通信機器の販売に力をいれています。

北海道テストセンターでは、通信機器を様々な環境（低温度・降雪期）の中で試験を行い、今後需要が高まるといわれる屋外無線通信（WiFi 環境）の安定した製品開発を手がけます。先月行われた「夜高あんどん祭り」では、3 丁目会場等 4 箇所に定点カメラを設置し、本部でお祭りの進行状況を確認出来るシステムをご好意により構築され、早速本町において動画配信のテストを行っていただきました。

今後は、屋外 WiFi による観光情報等の発信、高齢者の見守り、非難場所等の通信手段の確保などの環境整備のテストを行う予定です。

事務所には、3 名の社員が常駐しており、そのうち 1 名は沼田町出身で、今春高校を卒業し採用され、通信機器の取扱説明書の作成等を主な業務として働いています。来春以降も新規採用をしていく予定と聞いておりますので、生まれ育った沼田町内で就職を希望する中学・高校生の皆さん。ハイテクインター(株)に注目です！



▲左 新規採用の臼井美里さん 右 所長の稲屋博志さんです。

百歳おめでとうございます。

7月27日（水）旭寿園に入園されている川邊トシ子さんが7月10日に満100歳を迎えられたことから町よりお祝い状と長寿祝い金をお渡しし長寿を祝いました。

この日は、町内に住まわれている長男の川邊幸男さんが駆けつけ、家族と一緒にお祝いをしました。



沼田町老人クラブ連合会

「活動賞」を受賞！

沼田町老人クラブ連合会（野 道夫会長）が、公益財団法人全国老人クラブ連合会から先進的な取り組みを行っている老人クラブに贈られる「活動賞」を受賞しました。

町老人クラブ連合会は、長年に亘り、交通安全運動期間中の春、夏、秋の3回延べ30日間、小学校を中心とした通学路の街頭啓発を行い、児童・生徒たちの安全を見守った活動や、JR 留萌線石狩沼田駅・真布駅構内の清掃活動、郷土の自然を大切に守るホテル事業への協力等の取組みが評価されこの度の受賞となりました。

野会長は「街頭啓発は10年以上前、沼田駅清掃は7年程前から行っている。毎回多くの会員に参加していただいたことが今回の受賞となりました。こういった活動を行い会員全員が健康で長生きに繋がればと思っています。」と話されていました。

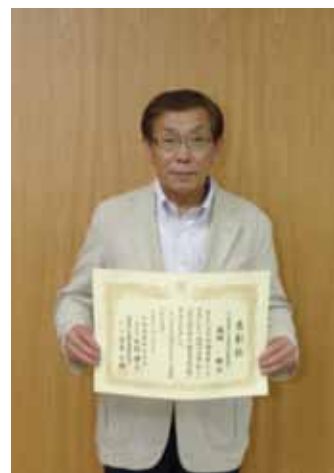


沼田警察署少年補導員連絡協議会 副会長 高田 勲氏

「北海道少年補導功労者表彰」を受賞！

沼田警察署少年補導員連絡協議会で副会長を務めている高田 勲氏が北海道少年補導功労者表彰を受賞しました。

高田氏は平成2年から現在まで多年にわたり少年の非行防止及び健全育成への深い理解と熱意を持って、各種祭典、夏休み中の街頭補導活動、歳末時における街頭補導活動等の功績が評価され今回の受賞となりました。



沼田町自治振興協議会

「道路功労者表彰」を受賞！

沼田町自治振興協議会（石田隆広会長）は、公益財団法人日本道路協会から道路整備事業の推進、道路愛護、美化保全等に尽力された団体・個人に贈られる平成28年度道路功労者表彰を受賞しました。

受賞を受けた石田会長は「来週にはあんどん祭りが開催されます。祭り前の道路清掃は町外から来られるお客さんを迎える事を目的に始めました。清掃事業は当会だけではなく、町内の方々は個人でも自宅前の道路清掃をしてくれており、町をキレイにしようと思う気持ちは町民みんなの願いです。」と話されました。

